

序章 第三帝国ユダヤ人迫害・大量殺戮をいかにとらえるべきか

9

はじめに 10

1. 歴史の見方と課題の限定 12
2. 犯罪行為主体・勢力の思想構造と闘いの場・状況 16
3. 植民地勢力圏再分割・世界強国建設の理念と行動、その帰結 18

第1章 「合法的革命」とユダヤ人差別の段階的進展 一九三三〜一九三七年

25

1. 「合法的革命」とヴェルサイユ体制打破 26
2. 国民的民族的統合と反ユダヤ主義 31
3. 差別迫害に対するユダヤ人の行動 40
4. ニュルンベルク法とユダヤ人政策の中央集権化 43
5. 四カ年計画とユダヤ人迫害 48

小括 54

第2章 「大ドイツ帝国」建設とユダヤ人迫害・強制移送 一九三八年

57

はじめに 58

1. オーストリア併合とユダヤ人迫害・追放 58
2. ズデーテン併合とユダヤ人迫害・追放 72
3. 諸外国のユダヤ人難民受け入れ拒否 78

小括——「帝国水晶の夜」 87

第3章 保護領創設とユダヤ人迫害・強制移送 一九三八〜一九三九年

91

はじめに 92

1. 「帝国水晶の夜」からヒトラー国会演説へ 93
2. メーメル占領・併合とユダヤ人迫害 100
3. ベーメン・メーレン保護領化とゲルマン化 103
4. 保護領におけるユダヤ人迫害の開始 108

小括——ユダヤ人問題「解決」諸構想と開戦後迫害急進化の五段階 113

第4章 ポーランド侵攻・占領とユダヤ人迫害 一九三九年九月～一九四二年六月

119

はじめに 120

1. 奇襲攻撃・電撃的制圧とポーランド人指導者層の殲滅 122
 2. 総督府統治と保留地構想段階の追放——一九四〇年春まで 133
 3. 対英仏戦争と追放・ゲットト化強行——一九四一年春まで 149
 4. 全般的衰弱・大量餓死への道 155
- 小括——対ソ戦勝利の展望と新たな追放構想 160

第5章 ソ連征服政策とユダヤ人大量射殺拡大過程

——占領初期一九四一年六月～九月を中心に

165

はじめに 166

1. ヒトラーの「絶滅戦争」とは何を意味するか 167
2. 独ソ戦初期のユダヤ人の犠牲——概観 176
3. 歴史的前提——ロシア史とソ連時代のユダヤ人 179
4. ソ連征服戦争の準備とユダヤ人の位置づけ 190

5. 奇襲攻撃・軍後方地域拡大・激戦化と焦眉の治安確立課題 198

小括 217

第6章 ユダヤ人問題の最終解決

——世界大戦・総力戦とラインハルト作戦

219

はじめに 220

1. 独ソ戦下総督府ポーランドの全体状況 225
2. 体系的大量殺害への道 231
3. 臨界状況の総督府と一九四一年一月中旬の根本的転換 237
4. 総督フランクの閣議総括演説——「ドイツ民族防衛のため」のユダヤ人殺戮 243
5. 世界大戦・総力戦の死闘とヴァンゼー会議 247
6. ラインハルト作戦の段階的急進化 252

(1) 大量殺害の第一段階一九四二年三月から六月 252

——春・夏の総攻撃の総体的力学のなかで

(2) 大量殺害の第二段階一九四二年七月から一二月 263

——スターリングラード攻防戦の総体的力学のなかで

あとがき 279

文献リスト 281

索引 i

【凡例】

1. 略記号VEJ, IMG, NNTの詳細は、巻末文献リスト参照。
2. VEJ, IMG, NNT各巻の解説・注記等は、それぞれの(巻数:ページ数)。
3. VEJ, IMG, NNT各巻のドキュメントは、それぞれの(巻数/ドキュメント・ナンバー)。
4. *Verzeichnis der Zeitgeschichte*, Institut für Zeitgeschichte München, 1971 (VFZ, 巻 [出版年] ページ)。
5. 参照・注記文献は巻末文献リストにより、(巻数/ドキュメント・ナンバー, ページ数)。